

令和2年9月7日

大学共同利用機関法人情報・システム研究機構長候補者の決定について

大学共同利用機関法人
情報・システム研究機構

大学共同利用機関法人情報・システム研究機構では、現機構長 藤井 良一が令和3年3月31日をもって任期満了となることに伴い、機構長選考会議において、次期機構長候補者の選考を行った結果、下記のとおり機構長候補者を決定しましたのでお知らせいたします。

記

(ふじい りょういち)

藤 井 良 一

[現職：情報・システム研究機構長]

(任期：令和3年4月1日～令和5年3月31日（2年）)

(添付資料)

- ・ 機構長候補者選考結果について
- ・ 機構長候補者の経歴書
- ・ 次期機構長選考基準

大学共同利用機関法人情報・システム研究機構長候補者
選考結果について

情報・システム研究機構長選考会議（以下「選考会議」という。）は、以下のとおり次期機構長候補者を決定しましたのでお知らせします。

1 機構長候補者氏名

藤 井 良 一 氏

2 任期

令和3年4月1日～令和5年3月31日（2年）

3 選考理由

機構長選考会議は、機構長選考会議規則等に則り厳正な手続き・方法により選考を行い、藤井 良一 氏を次期機構長候補者として決定した。

藤井 良一 氏は、これまでの情報・システム研究機構長としての実績からも、次期機構長選考基準に定める資質と能力を十分に備え、本機構をとりまく状況を的確に把握し、強力なリーダーシップと総合的なマネジメント能力を発揮することが期待できる人物である。

生命、地球・環境、人間・社会など複雑な現象に関する問題を情報とシステムの観点から捉え解決する、という理念の下、他の大学共同利用機関法人や総合研究大学院大学との連携を推進することにより、異分野融合、新分野創成の発展を目指す強い意欲がある。また、学術基盤の新たな展開のため機構・研究所のミッションをより広義に捉え拡大させる意欲を持っており、次期中期目標期間において、より広い観点からの改革を積極的に支援し、実現を図ることが期待できる。さらに、共同利用・共同研究体制を強化・発展させることに加え、データサイエンス高度人材育成を推進することにより、大学の機能強化に貢献し、日本全体の競争力向上に寄与することが期待できる。

以上により、次期機構長候補者として最も適任であると認めた。

4 選考経過

(1) 令和2年4月1日（水）

機構長候補者選考日程及び次期機構長選考基準を機構及び各機関の掲示板並びに機構ウェブサイトに掲示した。

- (2) 令和2年5月7日(木)～令和2年5月29日(金)
機構長選考規則第5条に基づき、第一次機構長候補適任者(以下「一次適任者」という。)の推薦を求めた結果、3名の推薦があった。
- (3) 令和2年6月12日(金)
機構長選考規則第6条に基づき、推薦を受けた一次適任者について審議し、第二次機構長候補適任者(以下「二次適任者」という。)3名を選出した。
- (4) 令和2年7月1日(水)～令和2年7月31日(金)
機構長選考規則第7条第2項に基づき、二次適任者3名に意思確認を行ったところ、1名より同意書、所信調書及び経歴書の提出があった。
- (5) 令和2年9月4日(金)
機構長選考規則第7条に基づき、同意のあった二次適任者1名について、個別に面談を実施し、合議を行った結果、藤井 良一 氏を機構長候補者として決定した。

令和2年9月4日
情報・システム研究機構長選考会議

経 歴 書

氏名	藤井 良一	生年月日	1950年7月11日 (70歳)
年 月	【学 歴】		
1974	3	東京大学理学部地球物理学科卒業	
1976	3	東京大学理学系大学院地球物理修士課程修了	
1977	7	東京大学理学系大学院地球物理博士課程中退	
1981	5	理学博士 (東京大学)	
年 月	【職 歴】		
1977	8	国立極地研究所助手	
1992	4	名古屋大学助教授	
1995	8	名古屋大学教授	
2005	4	名古屋大学太陽地球環境研究所所長	
2009	4	名古屋大学理事・副総長	
2015	4	名古屋大学教授	
2016	1	情報・システム研究機構理事 (非常勤)	
2016	4	情報・システム研究機構理事	
2017	4	情報・システム研究機構長 (現在に至る)	
専門分野： 宇宙科学 (太陽地球系科学)			

次期機構長選考基準

令和2年2月19日

情報・システム研究機構長選考会議

1 情報・システム研究機構長に求められる資質・能力

大学共同利用機関法人は、機構の強み・特色を最大限活かした共同利用・共同研究体制を強化・発展させることにより、大学の機能強化へ貢献し、さらには日本全体の競争力向上に寄与することが求められている。

情報・システム研究機構は、生命、地球・環境、人間・社会など複雑な現象に関する問題を情報とシステムの観点から捉え、解決することを基本的な理念としている。

特に、大規模データから有益な情報や知識を獲得し、複雑な現象の解明、予測及び意思決定を行うためのデータ駆動型の研究方法の確立が、科学技術の発展や社会のイノベーションの鍵となっている。

そのため、機構長には、それらの実現を追求する強い意志を有するとともに、次のような資質と能力が求められる。

- ・ 人格が高潔で、学識が優れ、かつ、大学共同利用機関における教育研究活動を適切かつ効果的に運営できる。
- ・ 機構及び機構を構成する各機関のミッションを踏まえた長期的な視野を持ち、中期目標・中期計画を着実に実行するリーダーシップとマネジメント力を有する。
- ・ 大学共同利用機関としての特性を生かし、総合研究大学院大学等との連携を通じ、高度な研究者・技術者の育成を推進する。
- ・ 柔軟な発想で新たな知の開拓、異分野融合、新領域の創出を推進し、我が国及び世界の学術の発展に寄与する。

2 情報・システム研究機構長選考の手続き・方法

情報・システム研究機構長選考会議は、情報・システム研究機構長選考規則及び情報・システム研究機構長選考実施細則等に基づき、厳正な手続き・方法により機構長候補者を選考する。